

「この指とまれプロジェクト」

提案者

住 所：東京都世田谷区玉堤 1-28-1

団体名：東京都市大学

連絡先：chiikirenkei@tcu.ac.jp

事業概要

提案プログラム名	PC の中身に触れてみよう
事業概要 (概要、場所、経費)	<p>長年学内で行ってきた、PC ハードウェアの分解や組み立てに関するノウハウや経験を地域へ還元するため、子供を主な対象として以下の二つのワークショップを実施したい。</p> <p>昨年度、当プロジェクトを通して、藤沢地域を活動拠点とする NPO 団体とマッチングし、以下(1)を実施したが、今後は藤沢地域に留まらず、活動場所を広げたい。</p> <p>(1)タイトル：ハードディスクを分解してみよう 【概要】中古のハードディスクドライブを一人一台で 工具を使って、ディスクと強力磁石等に分解する 【定員】30 人まで 【場所】神奈川県内 2 時間程度 【経費】・会場費（金額は会場の設定に準ずる） ・ハードディスクドライブ（中古品を調達できなかった場合、一台 500 円程度×人数分）</p> <p>(2)タイトル：デスクトップ PC を組み立てましょう 【概要】参加者が PC パーツを購入し、デスクトップ PC を組み立てて OS をインストールするまでの工程を体験してもらう 【定員】3~4 人 【場所】神奈川県内（LAN 有） 【経費】会場費（金額は会場の設定に準ずる） ※PC パーツは、参加者負担（1 台約 10 万円程度）</p> <p>※場所が確保できない場合、本学横浜キャンパス（横浜市都筑区）の教室を利用予定</p>

事業に期待する効果	プログラミング教育が注目されているが、プログラミングではコンピュータの論理的な面を扱うのに対して、本ワークショップでは物質的な面を扱うことによってコンピュータの仕組みがより具体的に分かり、プログラミング教育の効果が上がりやすくなると期待する。
団体概要	東京都市大学 2010年より春休みと夏休みに学内で学生を対象としてPC組み立てイベントを主催している。また相談に応じて、PC組み立てを指導している。また出張講義で高校生対象にHDDの分解ワークショップを行っている。
期待するリソース	<ul style="list-style-type: none"> (1) 参加者の募集 (2) 会場の提供 (3) 企業で要らなくなったハードディスク (データ消去済のもの)
スケジュール	<p>6月日程や場所など開催要項を決める</p> <p>同月下旬より7月に参加者の募集</p> <p>7月下旬より8月（夏休みを想定）にワークショップ実施 (一回以上)</p>